

平成22年度

全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会

# 教育制度部会

## 実施案内

主催

財団法人日本私学教育研究所

後援

日本私立中学高等学校連合会

◆ 研究のねらい ◆

### 教育制度改革の動向と私学の課題・展望

新たな教育政策としてにわかに導入された「高校授業料の実質無償化」。これはすでに私立学校の経営や、受益者である保護者・生徒達に対して、様々な影響を与え始めているが、そもそも中等教育の「公費負担」や私立学校に対する「私学助成」はどうあるべきなのか。

あるいは大衆化した高等教育の「大学入試」や「高大接続」、教員免許更新制改廃後の「教員養成」、情報公開や第三者評価等外部者による「学校評価」、少子化・地域主権が進む中での「私立教育」や「公私協議」等々、教育制度上の様々な課題が全国の私学に押し寄せてきている。

そこで本部会では、これらの教育制度にまつわる諸問題について、私学の立場から専門的に研修するために、教育制度の専門家等による研究講演や教育制度に関する中央からの情勢報告を行うと共に、全国各地の私学が抱える教育制度問題の現状と課題について情報を交換・共有し、さらにはこれからの私学がとるべき方策を検討する契機としたい。

◆ 会 期 ◆ 平成22年10月29日（金）

◆ 会 場 ◆ 私学会館（アルカディア市ヶ谷）

東京都千代田区九段北4-2-25 電話03-3261-9921

※研修会に関するお問い合わせは、日本私学教育研究所（電話03-3222-1621）をお願いします。

◆ 募集人数 ◆ 150名 [内、A…50名、B…100名]（先着順）

◆ 参加対象 ◆ A. 都道府県私学協会 役職員等 [教育制度・私学振興・大学入試・生徒募集対策担当等]  
B. 理事長、理事、校長、副校長、教頭、教諭 [教務担当・進路（進学）指導担当等]

◆ 基本日程 ◆

※プログラム・内容等は今後変更となる場合があります。

10月29日（金）	9:30	10:30	11:30	12:00	13:00	14:00	15:00	16:30	17:00
	受付	講演 I	講演 II	昼食	中央情勢報告	事例報告会 （全体会：報告・討議）		総括・閉会	

《 キーワード 》  
 【教育制度改革】【高校無償化】【教員資質向上】【地域主権】【私学振興・私学助成】  
 【公私立・地域格差】【生徒募集・公私協議】【高大接続】【大学入試改革】

◆ **講演Ⅰ** ◆ 演題 「教育政策・制度改革の動向と私立学校」(仮)

- ① 高校無償化・高等学校等就学支援金と私学助成
- ② 教員資質向上策(教員養成・教員免許更新制等)
- ③ 地域主権改革と私学振興・公私協議 等

講師 **鈴木 寛** 文部科学副大臣

高校無償化・就学支援金政策の私立学校と生徒・保護者への影響、制度上の課題、現存・拡大する公私間格差、新たに生じる地域格差の是正のために、私立学校と受益者にとって望ましい財政・補助金制度、教育費の公費支出のあり方、地域主権改革に伴う「ひも付き補助金の一括交付金化」「義務付け・枠付けの見直し(公立高校収容定員基準廃止等)」構想の私学への影響等、今後の教育改革政策の方向性等について、文部科学副大臣が報告の後、参加者との質疑・意見交換をとおして、各地域の私学の現状と教育現場の課題を国に伝える機会とする。

◆ **講演Ⅱ** ◆ 演題 「日本型高大接続の転換点—『高大接続テスト(仮称)』を考える—」

講師 **佐々木 隆生** 北海道大学公共政策大学院 特任教授  
 「高等学校段階の学力を客観的に把握・活用できる  
 新たな仕組みに関する調査研究」代表

上記文部科学省・先導的大学改革推進委託事業の研究代表者が、先般の「経過報告」を経て、秋に予定される「高大接続テスト(仮称)」最終まとめを中心に、大学入試センターが事業仕分け対象に挙げられる等、揺れ動く教育政策のもとで、選抜から相互選択へと向かう大学入学者選抜改革の動向、高等学校が考え、大学が求める「学力」等を含め、私立高校関係者に報告し、問題を考える契機とする。

**講師プロフィール**  
**佐々木 隆生**(ささき たかお) 1945年盛岡市に生まれる。「高等学校段階の学力を客観的に把握・活用できる新たな仕組みに関する調査研究」代表。社団法人国立大学協会入試委員会専門委員。東北大学大学院経済学研究科助手を経て、北海道大学経済学研究科教授、同公共政策大学院院長等を務め、現在は北海道大学公共政策大学院特任教授、同大学サステナビリティ学教育研究センター長。専門は国際政治学。著書として「国際公共財の政治学」(岩波書店・2010年)、「国際資本移動の政治経済学」(藤原書店・1994年)などがある。

◆ **中央情勢報告** ◆ テーマ 「教育制度改革と私学の対応」

報告者 **實吉 幹夫** 日本私立中学高等学校連合会 教育制度委員長  
 (財団法人日本私学教育研究所 副理事長)

国が進める教育改革政策 —例えば「高校無償化・高等学校等就学支援金制度」「教員養成改革と教員資質向上策」「第三者評価を含めた学校評価ガイドライン改訂」等— 新たな課題の私学への影響と中高連の対応法策等について、教育制度改革対策責任者が報告する。

◆ **事例報告会** ◆ テーマ 「都道府県における教育制度改革の現状と私学の未来」  
 —【私学振興】と【生徒募集】の観点から、高校無償化後の都道府県私学の動向と課題、地域主権のあり方を考える—

- 《論点(例)》
- 1. 【私学振興】…高校無償化後の国の補助金と都道府県私学助成の動向、一括交付金構想等
  - 2. 【生徒募集】…私立中学校・高校生徒募集への高校無償化の影響、生徒収容と公私協議等

◇ 都道府県による事例報告…1時間25分

報告Ⅰ 「地域主権と私学振興」(仮)

① **福岡県**

報告者 **天野 義則** 社団法人福岡県私学教育振興会 専務理事

報告Ⅱ 「近畿圏・首都圏における私学の動向」

② **京都府**                      ③ **東京都**

◇ 質疑応答・意見交換 …40分

◇ まとめ …10分

講演Ⅱを受けて、都道府県が抱える「公立高校授業料無償化」「高等学校等就学支援金」制度より派生する諸問題(私学助成への影響、公私立格差・地域格差と各地方自治体への対応、生徒募集等)について事例報告を行い、情報を共有し自県の参考とする。また、今後の課題として、「ひも付き補助金の一括交付金化」「義務付け・枠付け見直し(公立高校収容定員基準廃止等)」等の地域主権改革構想の私学振興・公私協議への影響を探る。専門委員・客員研究員が会を進め、意見交換しとりまとめる。

## 【研修会日程・プログラム】

《会場 … 私学会館（アルカディア市ヶ谷）5階大雪》  
 【司会】鈴木 秀一 財団法人日本私学教育研究所 事務局長

09:00～09:30	参加者受付
09:30～10:30	<b>講演Ⅰ</b> <b>【講師紹介】</b> 吉田 晋 財団法人日本私学教育研究所 理事長 ◇演題 「教育政策・制度改革の動向と私立学校」（仮） ① 高校無償化・高等学校等就学支援金と私学助成 ② 教員資質向上策（教員養成・教員免許更新制等） ③ 地域主権改革と私学振興・公私協議 等 ◇講師 鈴木 寛 文部科学副大臣 ☆講演後、参加者との質疑
10:30～12:00	<b>講演Ⅱ</b> ◇演題 「日本型高大接続の転換点—『高大接続テスト(仮称)』を考える—」 ◇講師 佐々木 隆生 北海道大学公共政策大学院 特任教授 「高等学校段階の学力を客観的に把握・活用できる新たな仕組みに関する調査研究」代表
12:00～13:00	昼食
13:00～13:15	◇所長挨拶 中川 武夫 財団法人日本私学教育研究所 所長 ◇専門委員長挨拶 長塚 篤夫 財団法人日本私学教育研究所 教育制度専門委員長
13:15～14:00	<b>中央情勢報告</b> ◇テーマ 「教育制度改革と私学の対応」 ◇報告者 實吉 幹夫 日本私立中学高等学校連合会 教育制度委員長 （財団法人日本私学教育研究所 副理事長）
14:00～16:30	<b>事例報告会</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>【進行役】</b> 長塚 篤夫 専門委員長  <b>【アドバイザー】</b> 實吉 幹夫 専門委員、真城 義麿 専門委員                      新田 光之助 専門委員、野原 明 客員研究員                 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;">                     《テーマ》「都道府県における教育制度改革の現状と私学の未来」                      —【私学振興】と【生徒募集】の観点から、高校無償化後の都道府県私学の動向と課題、地域主権のあり方を考える—                 </div> ◇都道府県による事例報告 報告Ⅰ「地域主権と私学振興」（仮） ①福岡県 報告者 天野 義則 社団法人福岡県私学教育振興会 専務理事 報告Ⅱ「近畿圏・首都圏における私学の動向」 ②京都府（真城 義麿 専門委員） ③東京都（長塚 篤夫 専門委員長） ◇質疑応答・意見交換 ◇まとめ
16:30～17:00	<b>総括／閉会</b> 長塚 篤夫 専門委員長

※プログラム・内容等は変更となる場合があります。

### ◆ 講師・指導員（順不同） ◆

鈴木 寛（文部科学副大臣）  
 佐々木 隆生（北海道大学公共政策大学院 特任教授）  
 天野 義則（社団法人福岡県私学教育振興会 専務理事）

### ◆ 専門委員・客員研究員・指導員（順不同） ◆

長塚 篤夫（順天中学高等学校 校長）  
 實吉 幹夫（東京女子学園中学高等学校 理事長・校長）  
 真城 義麿（大谷中学高等学校 校長）  
 新田 光之助（筑陽学園中学高等学校 理事長・高校長）  
 野原 明（文化女子大学附属杉並中学高等学校 校長）  
 鈴木 秀一（財団法人日本私学教育研究所 事務局長）

## 参加申し込み方法

- 1) 申込先 下記の「参加申し込みの注意」をよくご覧になったうえでお申し込みください。  
2) 申込先

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階

「財団法人 日本私学教育研究所

私立学校専門研修会 教育制度部会担当」宛

電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683

ホームページ <http://www.shigaku.or.jp/>

- 3) 申込締切日 平成22年10月15日(金) 必着

申し込みは先着順に受け付けますので募集人員をこえた場合は、期日前でも締め切らせていただくことがあります。

**参加費** 20,000円 (昼食費を含む)

**参加確認証** 参加申込書受付後、参加確認証をご本人宛にお送りいたしますので、研修会当日受付にご提示ください。

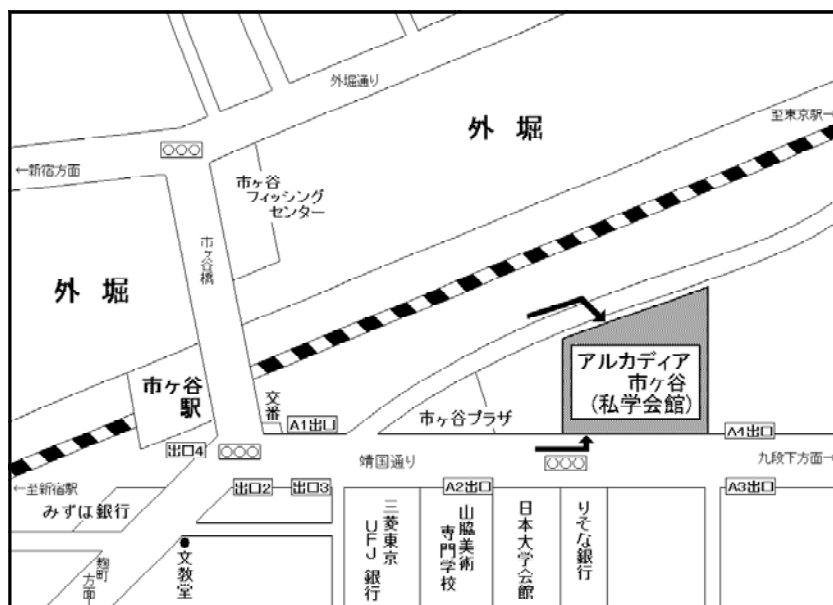
## 個人情報の取扱について

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要がある場合にのみ利用いたします。

## 参加申し込みの注意

1. 参加申込書に必要事項を記入のうえ、上記「参加申し込み方法 2) 申込先」にご郵送またはFAXしてください。(申し込み後、2週間以内に確認証が届かない場合はお電話にてご確認ください。)
2. 参加申込書受付後、「参加確認証」と「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」をお送りいたします。参加費は、必ずこの払込用紙にて、指定されたコンビニエンスストアでお振り込みください。なお、参加費等の領収書は「払込受領証」をもって代えさせていただきますので、大切に保管してください。
3. 研修会への参加申込み後の変更・取り消しについては、必ず、FAXにて日本私学教育研究所へご連絡ください。(FAX送信後、確認の電話をお願いいたします。)不参加の場合、返金の精算は研修会終了後約1カ月かかりますので、あらかじめご承知おきください。なお、参加費振り込み後の場合は、事務手数料として1,000円を差し引いて返金いたしますのでご了承ください。また、10月25日(月)15時00分以降に不参加の連絡があった場合、いったん納入された参加費は返金できません。研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。

## 会場「私学会館(アルカディア市ヶ谷)」案内図



- 東京メトロ有楽町線  
・南北線「市ヶ谷駅」  
A1-1出口
- 都営新宿線「市ヶ谷駅」  
A1-1, A4出口
- JR総武線「市ヶ谷駅」  
(中央線より「四ツ谷駅」  
または「御茶ノ水駅」  
にて総武線に乗り換え)

※各出口より  
徒歩約2～4分

【申込締切日：10月15日（金）必着】

財団法人日本私学教育研究所

**FAX番号 03-3222-1683**

平成22年度 全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会  
**教育制度部会 参加申込書**

平成22年\_\_月\_\_日

① 参加者氏名	(ふりがな) _____	( 男 ) ( 女 )
② 学校(所属団体)名 ※ 私学協会関係者は所属団体名		③ 職名
④ 学校住所 ※ 私学協会関係者は所属団体住所	〒 _____ 電話番号 ( ) _____ FAX ( ) _____	
⑤ 参加確認証送付先 ※ 上記の参加者ご本人、または学校(所属団体)住所と異なる場合にご記入ください。	〒 _____ (受取人氏名 _____)	
⑥ 参加者連絡先 ※	※緊急の場合、確実に連絡がとれる携帯電話番号・自宅電話番号等をご記入ください。	
⑦ メールアドレス	<div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div> <p>※ 今後、当研究所からの研修会のご案内等のメール配信をご希望の方は、メールアドレス（携帯電話のメールは不可）をご記入ください。（過去に当研究所の研修会に参加し、申込書等にご記入いただいた方は、すでに登録されておりますので、記入の必要はございません。アドレス変更の場合はご記入ください。）</p>	
⑧ 通信欄		

※ 郵送，FAXでお申し込みください。

※ 複数名の参加の場合は、恐れ入りますが、本参加申込書をコピーしてご記入ください。

受付番号